

国際プログラム 台湾研修を終えて

上野悠果

九州大学に入学した頃の頃、在学中に必ず留学をしたいと思って、意気揚々と国際プログラムに申し込んだにも関わらず、サークルの充実、英語と触れる機会の急速な減少等の理由で、2年間をかけて留学だけに向いていた意欲が分散してしまっていた。しかし、台湾研修に行って、国際交流の楽しさや、異文化に自ら飛び込む経験を積む意義を実感し、改めて留学への思いが強くなった。私にとってそれほど、この台湾での研修は思い出深いものであり、沢山の学びを得られる場であったのだ。正直、この研修に行くためだけに国際プログラムに参加してみたい程である。何がそんなに魅力的だったのか数えるとキリがないので、旅のハイライトをいくつか書く。

まず、台湾の学生の人の良さに、本当に驚いた。どの人も本当に優しくかった。英語で話すことが苦手でも、積極的に話しかけてくれて、放課後や学校のない日でも、おすすめの場所に連れて行ってくれた。お店の注文からタクシーの予約、道案内など、自分が同じ立場だったらできないだろうと思うレベルのご厚意に、何から何までお世話になった。台湾ではそこまで流行していない BeReal を、私達とつながりを保つためだけにインストールしてくれ、未だにほとんど毎日更新とリアクションをしてくれている。日本語を話せる学生も数名いて、ディスカッションの時には通訳をしてくれたため、コミュニケーションにはほとんど苦労しなかった。

一緒に airbnb で民泊し、結果として沢山の時間を共有することになった日本人メンバーと、本当に楽しく旅行できたのが嬉しかった。一人の時間が欲しいタイプで、旅行に行くと何かしらストレスを抱えて帰ってくることが多いのだが、今回の旅では全くそれがなかった。自分一人では絶対に怖くて泊まらないホテルだった（清掃していたオーナーの服が破れ、足が何故か黄色かった・空が描かれた壁・金色のマイクとカラオケセット・仕切れないカーテン・いくら乾燥してもジメジメする強烈な湿気等）が、6人で泊まったから、それさえも楽しめた。毎日窓全開でカラオケをして最後には充電を切らしたり、備え付けてあった麻雀を夜な夜な楽しんでいたり、必ず帰宅前に隣の三越のトイレを借りたり、占いをしたり、本当に楽しかった。日本で授業をただ受けるだけでは、ほとんど関わりのなかったメンバーもいたの

に、こんなに楽しめた、仲良くなれたのは、間違いなく人に恵まれたからだと感じた。国際プログラムに参加していなかったらこんな出会いはなかったのだと思うと、本当に参加して良かったと思う。男子と泊まったのも、防犯の面で本当に良かったと感じる。必ず女子だけにならないように配慮してくれるなど、なんだかんだとても頼りにしていた。

そして、台湾の教育の充実度の高さ、対してインフラの整備がまだ全然行き届いていないことに驚いた。台湾では、STEAM 教育（科学、技術、エンジニアリング、アート、数学を融合させ、多角的に学問を学ぶ授業形態）が充実しており、公立の小学校、高校でも、非常に高いレベルの教育、設備が整っていた（実際に見学した）。3D プリンターやレーザーカッター、電子黒板なども置いてあり、日本の私立学校の設備よりも本格的だった。国立台湾師範大ともなれば、九州大学の比にならないぐらい、本格的で大規模な設備が整っていた。大学の中に美術館があったり、図書館の設備が本当に学生に寄り添ったものだったりした。また、図書館一つ、駅前広場一つでも、空間全体が現代アートと結びついているようなデザインが多かった。一方で、ウォシュレットがないどころか、どこのトイレでもトイレットペーパーが流せなかったり、都会の道端で頻繁に下水の臭いがしたり、そのチグハグ感に日本との違いを最も感じた。台湾は比較的日本人が馴染みやすい国であると聞いていたため、国として力を入れている分野がこんなにも違うとは思わなかった。鼎泰豊という小籠包のお店でウォシュレットがあることに感動し、一人一回以上座りに行ってありがたみを感じたのがいい思い出である。

勿論、観光は本当に楽しかった。自分達は、本来の日程よりも二日ほど延泊して、行きたい場所をそれぞれで巡った。個人的に強く印象に残っているのは、十份のランタン、九份の千と千尋の神隠しの舞台となった風景、茶房、士林夜市で食べた快樂

QQ 球、龍山寺、中正紀念堂、国立故宮博物館、鼎泰豊の小籠包、台北市立美術館での現代アート、永和豆浆の朝ご飯、マンゴーかき氷、象山からの風景等である。台湾の学生にお薦めしてもらった淡水という場所に行けなかったのが悔しいが、また行った時の楽しみに取っておこうと思った。

他にも様々な驚きや発見があったが、それらの経験の一瞬一瞬が新鮮で、本当に行って良かったと心の底から感じた。行く前の不安が嘘のようにあっという間に九日間が過ぎて行った。長いようで短

かったが、三泊四日などで旅行するのと比較出来ないほど、自分の中で忘れられない、鮮明な記憶になっている。



龍山寺



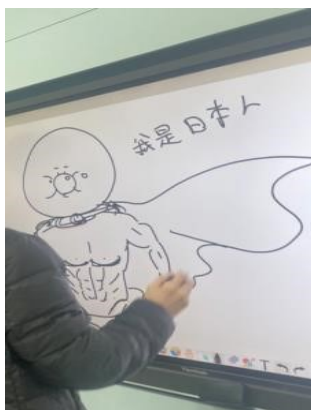
九份



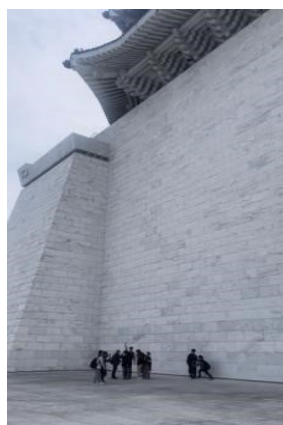
鼎泰豊の小籠包



象山からの景色、101



電子黒板



中正記念堂



鶏の丸焼き